

3学年 いじめ防止対策 授業

【実施日】2月6日(金)6校時 【ねらい】相手の内面的な良さを認め合える関係を考える。

【題材】「ゴリラのまねをした彼女を好きになった」

中学2年生の時の職業体験で、小林さんと一緒に保育園グループになった主人公の僕(沢井)は、最終日、一人の女の子が、親が迎えに来なくて泣き出す場面に遭遇します。途方に暮れていると、小林さんが「お姉ちゃんの顔を見て!」と得意の変顔をしたり、「ゴリラのまねも得意なんだよー。」とジェスチャーしたりし始めました。すると女の子は笑い、他の子も大喜びしました。数日後、保育園への礼状を書いている時、ゴリラのまねの話になり、小林さんは本当に恥ずかしそうにしていました。しかし、僕は「小林さんは恥ずかしがらなくていいよ!あのとき、小林さんは輝いていたと、俺は思うよ。」と口走ります。

時を経て、成人式の今日、再会した小林さんが「沢井くんにお礼が言いたくて。みんなの前で『小林さんはあのとき輝いていた』って言ってくれたでしょ。あの言葉は私の宝物。」と語りかけます。自分の言った言葉を小林さんが大切にしてくれてうれしかった。彼女は今でも、まぶしいくらいに輝いていた――。

授業では、「認め合う関係になるためには、どんなことが必要か」について考えました。「相手の長所に気付くこと」や「自分の考えを、周囲に流されずに伝えること」、「いつもと異なる視点に立ち、相手のことを理解しようとする態度」などという意見が出ました。学年目標の「共存共栄」という言葉も多く聞こえ、互いに尊重し合い共存するために日頃から意識していることが伝わりました。